

人とまちがきらめく やわらぎのふるさとづくりをめざして



町長就任の ごあいさつ

王寺町長 平井 康之

私は、人とまちが生きぬく
く和（やわらぎ）のふるたて
づくりをめざして、この中
寺町を「くわこ満足度」向上
内トップにかるために、4つ
の政策からなる「くるたて
H寺」のまちづくりビジョン
を公約として掲げ、選挙で訴
えてまいりました。数多くの
住民の皆様のご賛同を得るこ
とができましたので今後は、
この公約を具体化し実施して
まいります。

まず、町内の南北を結ぶ国道168号は、平成13年度から、役場南から西名阪道路香芝インター南まで4.7Kmの拡幅に取り組んでいます。平成21年8月の本町一丁目交差点から南620mの区間の部分開通以来、現在も整備が進展せず、そのままでは完成がいつ次に「景観形成と環境に優

卷之三

美しい景観で満たすため、国道160号の電線の地中化事業を県へ強く要望してまいります。また、地区ごとに地域のシンボルツリーを設定するなど、花と緑があふれる景観づくりに取り組むとともに、明神山自然の森の散歩道や草下川の自然を活かした整備を行い、住民の皆様と協働で紅葉や桜の名所にしたいと考えています。また、子どもたちの農業体験や大和川の生き物の充実、環境教育を推進します。

「五条駅周辺と国道16号を核とする魅力ある商業圏の形成」については、西和の中核都市として発展してきた王寺町ですが、近年は、地元の商業が停滞傾向にあるとわざるをえません。今後は、交通の要所である地域特性を

「子育ての負担軽減と地域教育力の充実」については働きながら子育てを行う保護者が安心して働ける保育環境保育サービスなど、保護者のニーズに応えた学童保育の質及び量の拡充などに取り組み子育ての負担軽減を図っています。学校教育においては、国際社会への対応などを

「子どもの健康を守る」に
ついては、子どもの疾病の日
期治療と子育て世代の経済的
負担の軽減を図るため、これ
までの未就学児の通院医療
費の公費負担に加えて、今
後、就学児に係る医療費の
公費負担の拡充を検討して
まいります。

活用した「にぎわいづくり」
のため、若者の新しい発想
アイデアを活かす検討委員会
を設置するなど商工会と十分
協議、協調して、新たな魅力
ある商業圏の形成プランを策
定し、その実現に取り組んで
まいります。

おける堤防の嵩上げ工事の実施、大和川本流における大規模な遊水池の整備を要請してまいります。

また、平成23年3月の東日本大震災、さらには東海地震・東南海・南海地震等の大規模地震の発生が懸念される中、より身近な防災・減災活動を行つ**自主防災組織**の重要性がますます高まつており、今後

す。そこで、香芝市と連携しつつ県に大幅な予算配分を願いし、5、6年を日途に全線の供用開始をめざして取り組んでまいります。

次にJR畠田駅は、駅前の中狭さなど、利用者にとって不便な状況にあります。すでに駅前広場も含め都市計画道路が計画されていますので、今後、具体的な内容を決定し整備に着手してまいります。

大和川の整備は、大水害が二度と起こらないように、今後は、国土交通省へ藤井地区から王寺地区までの大和川の川床切り下げと、藤井地区に

協働・役割と責任など、「自助・共助」「公助」を基本としたまちづくりの仕組みやルールを定めた「まちづくり条例」の制定に取り組んでまいります。

住民に開かれた町政に「**住民に開かれた町政**」にして、住民との対話機会の拡充を図るとともに、政策形成過程における住民参加を充実するため、地域とのタウンミーティングなどを開催してまいります。また、住民の参加

化の激しいこれからの中高生を生きるために、豊かな心、健やかな体をバランスよく育てることを基本目標とした「教育振興ビジョン」を策定します。また、経験豊富な人材を活用した寺小屋塾の開設など「地域教育力の強化」をめざしてまいります。

「住み続けたいまちづくり」

るとともに、活動指針の策定や指導者研修に加え、定期的な防災訓練が実施できるよう検討を進めてまいります。

県立三室病院の整備

ましては、西和地区的住民の健康と生命を守る拠点病院であることから、来年4月に予定されている地方独立行政法個人化を契機として、平成21年4月から分娩の取り扱いが停止されている産科の早期再開とあわせて、救急をはじめとする地域医療の機能強化を、近隣の市町としつかり連携しながら、最優先課題として早く要望してまいります。

年で培つた経験やネットワークを最大限に活かし、ふるさと王寺町の再生・躍進のため全身全霊で町政運営に取り組んでまいる決意であります。

王寺町発展のため、住民皆様方のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げまして、就任のごあいさつとさせました。

足腰の強じ自立した自治体になることじます。これまで申し上げましたように各施策を推進するためにも地域の皆様と課題を共有し、県や周辺自治体との「広域連携」も強化しながら、安全・安心・健康な「ハジ」満足度」が県内トップの生活空間をめざしてまいます。また、奈良県厅在職35

報酬削減をはじめ、人事・組織機構の見直しや内部経費の削減を図るとともに公平な競争者負担などを含め、将来を見据えた新たな時代にふさわしい行政サービスの提供への転換に向け、行政評価システムの導入を進めてまいります。今、大切なことは、王寺町が

文化・芸術・スポーツに親しむ機会を増やすことで関心が広がり、新たな文化の創造が期待できると考えます。

サービス基盤の整備を進めてまいります。

「文化・芸術・スポーツ」「親しめる環境づくり」については、地域「ミニユーニティ」と住民間の「絆」再生をめざす新しいイベントなどを開催し、「ミニユニークーション」豊かな交流活動をさかんにしていくことは、人と人とのつながりから新しい文化を生み出し、一
体感を高める大きな原動力となるものと考えます。

また、町内に居住されてい
る芸術家や音楽家、文化人などの方々にご協力をいたた
き、小・中学校などおいで